

# アワビ増殖試験

担当者 技師 高橋 邦夫  
" 青山 禎夫

## I 目的

前年と同じ

## II 調査方法

ほぼ前年と同様であつたが、設定枠数は43箇所、標識放流はステンレス、クレモナ糸によつた。

## III 調査内容

前年同様

調査実施時期 昭和40年7月1日～7月4日

## IV 調査結果

(イ) 潮間帯における資源量

約40万個と推定される。

(ロ) 生息エゾアワビの性状

前年に同じ。

ただし、アワビの深淺移動による磯入り時期はその年の海況に左右され一定ではない。

(ハ) 産卵期の決定

"64,"65の観察から8月中旬～10月中旬と思われる。

(ニ) 標識放流

ステンレス200個、クレモナ糸500個の合計700個について標識放流を行なつた。

(ホ) 種苗アワビの移殖状況

地名 年	野辺地町	川内町	合計
1965	6,500個	2,000個	8,500個

(殻長4～5cm)

## V 今後の課題及び考察

漁場調査を行なうとともに亜潮間帯についても資源量の把握が必要である。

(詳細は“青森県尻屋地先におけるエゾアワビについて I”

“青森県尻屋地先におけるエゾアワビについて IIを参照)